

妖怪巨大女 (1958)

ATTACK OF THE 50 FT. WOMAN
ATTACK OF THE 50 FOOT WOMAN

メディア 映画

ジャンル SF

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 66分

公開情報 劇場未公開・TV放映

【解説】

'57年の「戦慄！ プルトニウム人間」に触発されて製作された、Z級SF映画。宇宙船に乗って地球に来た巨大宇宙人によって身長50フィートに巨大化させられた人妻（アリソン・ヘイズ）が、浮気をする亭主を追っかけて田舎のホテルを襲撃。亭主と愛人を殺すが、高圧電線の側を歩いていたところを保安官が変圧器を銃撃、その爆発に巻き込まれて死ぬ。噴飯もののストーリー、稚拙な合成（巨大女や宇宙人が歩く場面では、背景が透けて見える！）、へろへろと動いて人を襲う実物大の巨大な手など、鑑賞に耐えない作品だが、ビキニスタイルで動く巨大な女というキャラクターにカルト的な人気があり、その後'93年「ダリル・ハンナの ジャイアント・ウーマン」としてリメイクされたほか、'95年「Attack of the 60foot Centerfold」という類似作品が製作され、ある意味で'50年代を象徴するZ級SF映画となっている。監督のネイザン・ハーツは、「地球へ2000万マイル（日本未公開）」などの佳作で知られるネイザン・ジュランの別名。

【クレジット】

監督	ネイザン・ハーツ	Nathan Hertz
製作	バーナード・ウールナー	Bernard Woolner
製作総指揮	ジャック・マークエット	Jacques Marquette
脚本	マーク・ハンナ	Mark Hanna
撮影	ジャック・マークエット	Jacques Marquette
音楽	ロナルド・スタイン	Ronald Stein
出演	アリソン・ヘイズ	Allison Hayes
	ウィリアム・ハドソン	William Hudson
	イヴェット・ヴィッカーズ	Yvette Vickers
	ロイ・ゴードン	Roy Gordon
	ケン・テレル	